

各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<24年度の取組み>

◆急性期・総合医療センター

- 循環器(特に不整脈部門)における高度専門医療の推進・拡充
- 前立腺がんにおける内視鏡手術用ロボットの導入による低侵襲治療の充実
- 高度救命救急センターと一体となって推進する二次救急医療への参画
(救急車搬入患者数 24年度 4,954人 23年度 3,823人)

◆呼吸器・アレルギー医療センター

- 地域連携の強化による在宅酸素療法患者の受入れ拡大
(在宅酸素療法新規患者数 24年度 160人 23年度 145人)
- 食物チャレンジテストの積極的な実施
(食物チャレンジテスト実施件数 24年度 1,049件 23年度 1,015件)
- 緩和ケア病棟における実施体制の充実による患者の受入れ拡大
(24年度 163件 23年度 158件)

◆精神医療センター

- 関係機関との連携による多職種での訪問看護の拡大
(訪問看護実施件数 24年度 4,977人 23年度 4,640人)
- 思春期外来の拡充
(思春期外来延べ患者数 24年度 4,789人 23年度 4,486人)
- 新病院開院後における医療観察法病棟の患者受入れ体制の整備

◆成人病センター

- 難治性・進行性・希少がん患者への最適な集学的治療の実施と放射線治療におけるIMRTへの重点化
難治性がん手術件数 24年度 819件 23年度 809件
放射線治療(IMRT)件数 24年度 6,898件 23年度 4,853件
* IMRT(強度変調放射線治療):放射線に強弱をつけ、腫瘍の形状にあわせて放射線を集中照射することで、周囲の正常組織への照射を減らすことができる治療方法
- 前立腺がんにおける内視鏡手術用ロボットの導入による低侵襲治療の充実
- 個別化医療の推進
(抗がん剤感受性試験件数 24年度 162件 23年度 142件)

◆母子保健総合医療センター

- 手術枠の見直しを行い手術件数の増加を図るとともに難易度の高い手術を積極的に実施
(24年度 3,948件 23年度 3,915件)
- 入院している子どもの在宅療養への移行を支援
(在宅療養指導管理料算定実患者数 24年度 969人 23年度 840人)
- 総合周産期母子医療センターとして高度専門医療の実施
(1,000g未満の超低出生体重児取扱い件数 24年度 49件 23年度 48件)